

## 日本語政策学会 2011 年研究大会

日程：2011 年 12 月 3 日（土）～12 月 4 日（日）

会場：京都光華女子大学 (<http://www.koka.ac.jp/accessmap.html>)

大会テーマ 「国内外環境の流動化と言語問題」

参加費（予稿集を含みます）

会員：500 円 非会員一般：3000 円 非会員学生：1500 円

### プログラム

12 月 3 日 13 時～17 時 1 号館特 2 教室

12:00 受付

13:00 会場校挨拶：一郷正道（京都光華女子大学学長）

会長挨拶：田中慎也（日本語政策学会会長）

13:15-13:45 基調講演：田中慎也（日本語政策学会会長）

「グローバル化の進展と日本の緊急言語政策課題」

14:00-17:00 パネルディスカッション：「日本社会における情報弱者とは何か—  
東日本大震災からの示唆」

14:00-14:45 講演 1：梶茂樹（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

14:45-15:30 講演 2：石田英敬（東京大学大学院情報学環）

15:30-15:45 休憩

15:45-17:00 パネルディスカッション

ディスカッサント：梶茂樹，石田英敬，田中慎也

司会：木村哲也（帝京大学大学院）

17:30 懇親会（京都光華女子大学学内食堂，会費 4000 円）

### 12 月 4 日

9:30-11:30 一般発表

聞光館 252 教室 司会：本多弘之（杏林大学）

松岡洋子（岩手大学）「移住者に対する第二言語教育と教師養成—ドイツ調査から見えたこと—」

嶋内佐絵（早稲田大学大学院生）「北東アジアにおける高等教育の国際化・地域化と言語」

許之威（京都大学大学院生）「台湾におけるニューカマー対象の言語教育制度」

佐々木倫子，鈴木理子（桜美林大学）「iPod touch の手話アプリに見られるろう者軽視の方向性」

聞光館 253 教室 司会：細谷美代子（筑波技術大学）

山川和彦（麗澤大学）「北海道倶知安町の言語景観について」

上村圭介（国際大学）「ソフトウェアのローカライゼーションに関する社会経済的分析  
と言語政策的意味の考察」

五十川敬子（帝塚山大学）「小学校国語教科書で学ぶ『思考力』は世界に通用するか」

聞光館 254 教室 司会：仲矢信介（東京国際大学）

平畑奈美（滋賀大学）「『クール・ジャパン』政策と日本語普及政策」

山本冴里（早稲田大学大学院生）「自国語の国外普及をうべなう論理－国際交流基金と  
国家漢办」

杉野俊子（工学院大学）「言語・教育政策研究者の研究姿勢と社会的役割についての再考察」

13：00－13：15 総会 徳風館 6 階小講堂

13：15－14：15 講演：ミッシェル・カンドリエ（フランス・メヌ大学）

「欧州評議会から外国語の教室へ：言語・文化の多元的アプローチの長い歩み」

（通訳：西山教行[京都大学]）

14：30－17：00 シンポジウム：「移民コミュニティの移民言語教育-オールドカマーを中心に」

パネラー：陳於華（中京学院大学），李洙任（龍谷大学），柳美佐（京都大学大学院）

コメンテーター：庄司博史（国立民族学博物館）

司会：オストハイダ，テーヤ（関西学院大学）

\*会場校は阪急京都線・西京極が最寄り駅となります。京都市内の宿泊施設が取れない場合は、大阪・梅田地区にも比較的手ごろならホテルがあります。梅田から西京極までの所要時間は約 40 分です。